

羅針盤



2017年11月24日(金) 第28号

長い目で見れば、努力のない才能よりも、才能のない努力の方が、より多くのことを成し遂げるものだ。

(ジョン・ラボック(英国の考古学者・銀行家))

立川志の春さんの落語を聞きました

～「がんばっている大人の話聞く会」～

後期中間考査が終わった翌日 22 日(水)、2 学年が総合的な学習の時間に企画した「がんばっている大人の話聞く会」で、立川志の春さんの落語を聞く会を行いました。1 学年との合同授業という形で実施させていただきました。立川志の春さんの軽妙な語りはもちろんのこと、落語家を志すに至った経緯や経歴についてのお話にも、生徒たちは引き付けられた様子でした。初めて生の落語を聞くという生徒が大半のようでしたが、本物の持つすごさ、素晴らしさを感じることができました。英語による落語も見ることができましたが、英語落語は英語 I の教科書にも登場するので、そういう意味でも勉強になりました。



3 組 大越 美里 さん

落語家になろうと決めてから、一度も心を曲げず周りの反対を押し切ってでも自分の夢を実現させた立川志の春さんの人生は、とてもかっこいいです。私も、そんな夢を持てるようになりたいなと思いました。…観客を一瞬にして物語に引き込む力、セリフを演じ分ける力やセリフの間、どれも厳しい下積みや数々の失敗を経験したからなのだと強く感じ感動しました。“たとえ失敗しても、その方がおいしいと思う。失敗は恐れずにどんどんした方がいい。”この言葉は、この講演で最も心に残りました。失敗を恐れずに様々な経験をして成長していきたいなと思います。

3 組 國分 晴花 さん

私たちは自分の国のことを知らないと思っていましたが、自分が思っていたよりも知らなかったことを知りました。立川志の春さんの大学時代の友達とお話をお聞きし、自分のことを思い返してみると、自分も日本の伝統・もの・ことについて、名前は知っていても内容までは知らないものが大半を占めているなと思いました。今回の講演を聞くまで落語を生で見たことがなく、歌舞伎や人形浄瑠璃、すもうなども生で見たことはありませんでした。生で見たいと思ったことすらありませんでした。立川志の春さんの落語を拝見させていただいたとき、自分はなんてもったいないことをしていたんだろうと思いました。こんな面白い落語のことを知らずに 16 年間も過ごしていたことになります。…日本について考える良い機会をいただきました。日本についてもっと知りたいと思いました。

4 組 林 留茄 さん

私は、今回が初めての落語でした。正直、落語というのはだじゃればっかりで、年配の方だけが楽しめるものだと思っていましたが、すごく楽しめたと、落語というこんなにも楽しく他の国にな

いようなものが日本の文化であるということを感じることができて、すごく嬉しかったです。また、志の春さんがおっしゃっていたように、昔からたくさんの変化がある中でも同じ「笑い」を共有できることは、本当にすごいと思いました。…会社を辞めて落語を始めるなど志の春さんの決断力はすごいなと思いました。私もやりたいことがあっても、やる前にそれができる可能性などばかり考えて、結局行動に移せないことが多くあるので、志の春さんのように思い切って行動できる決断力を身に付けたいと思います。

4組 宮田 菜々子 さん

私は将来、外国に行って様々な言語を学びたいと思っています。だから、今回の講演は、そのことについて参考になることばかりでした。外国に行くときは日本文化をよく知っていた方が良いというのは、今回の講演で一番感じたことです。中学生の時に学校に落語家の方が来てくださり、落語を見たことがありましたが、歌舞伎や能などは見たことがなかったので、ぜひ見たいと思いました。実際に見ることができないとしても、DVDなどで積極的に日本文化にふれていきたいと思いました。また文化だけでなく、日本の歴史を学ぶことも日本について知ることだと思いました。外国人の方に日本について質問されたときに、すらすらと答えることができるのは、やはり日本人として誇らしいことだと思います。自分がそうすることができるといいなと思いました。

6組 大内 香奈 さん

今日の講演は、落語家になるまでのエピソードや、実際に落語を聞いたり、とても充実したものでした。落語の世界はとても厳しい上下関係で大変そうだなと思いました。何度もクビになってしまったりと大変なことがたくさんあるなかで、それでも落語を続けようと思ったことはすごい事だと思いますし、それだけ落語に対する思いが強いのだと思います。私もそれだけ夢中になれるものを見つけたいです。志の春さんの話を聞いて特に心に残ったのは、「失敗した方が面白いし、記憶に残る」ということです。私は今まで、失敗することは嫌なことだし、落ちこんでしまうこともありましたが、一見ダメなように見える失敗でもメリットとしてとらえることもできるのだと思いました。

8組 坂本 萌 さん

「人間はみんなバカ」という落語の理念に同意する。みんなバカであるからこそ、落語の登場人物は、みな温かいのだと思う。私は以前、町内会の行事で落語を聞いたことがあったのだが、そのときも誰も冷たい人はいなくて、なんだかだと世話をやく人達ばかりで、躍動感があった。きっと、今より昔の人達の方が、人々同士の心の距離が近かった名残が残されているのだと思う。見知らぬ人は全く関わりがないという今の私達は、交流を重んじるべきかもしれない。落語にも出てきた、知らない人に傘を貸してあげたり、ご近所さん同士で助け合ったりするような風潮をうらやましいと感じた。こうして昔の人の心が直接伝わってくるような体験をしたことは、とてもよい思い出になった。他の落語にもふれてみようと思う。

11月	曜日	行事等	朝学習
24日	金	40分授業実施日	数学
25日	土	(週末課題:国語、数学は通常通り)	
26日	日		
27日	月	※課題・プログレス提出	数学
28日	火		英語
29日	水	保護者講話(6・7校時) 面接週間(45分授業、~12/13)	国語
30日	木		総合
12月1日	金		数学
2日	土	(週末課題:国語・英語。数学は通常通り)	
3日	日		
4日	月	※課題・プログレス提出	数学
5日	火		英語
6日	水		国語
7日	木		総合
8日	金		数学
9日	土	(週末課題:国語・英語。数学は通常通り)	
10日	日		